

じょうほく 城北高等学校

人としての魅力を磨きながら 仲間とともに成長する進学校

生徒の可能性を引き出す
主体的な特別活動の時間

1941年に創立し、伝統ある男子校として歴史を刻んできた城北高等学校(以下、城北)。教育目標に「人間形成と大学進学」を、校訓に「着実 勤勉 自主」を掲げ、優れた人間性の上に広い教養と知識を持った社会に役立つ人間の育成をめざしています。

「大学進学については、やはり結果を出すことが大事だと考えています」と語るのは小俣力校長先生。生徒には、日ごろから創立者、深井鑑一郎の教えである「質実厳正」と「刻苦勉励」を守り、受け継いでいくことの大切さを説いています。

「質実厳正」とは飾らず質素で、かつ礼儀と公正を重んじるということ。そして『刻苦勉励』は真面目に一生懸命に勉強するということで

す。この2つの教えにしたがい、生徒たちは日々努力を重ねています」
(小俣校長先生)

城北では、高校から入学する高入生については、1年次は併設中学から進学する中入生とは別のクラス編成とし、高入生独自のカリキュラムで学力を高めていきます。そして、文系・理系に分かれる高2から中入生との混合クラスになり、高3からは私立理系、国公立理系、私立文系、国公立文系の4コースに分かれて、それぞれの進路目標に向かって進んでいきます。

また、今年度より火曜日から金曜日の8時15分から9時までの45分間を0時間目とした「主体的な特別活動の時間」がスタートしています。クラスの枠を超えて教科ごとを選択できる講座や補習の時間として活用できるなど、授業の枠にとらわれず自ら課題を持って取り組めることが



おまたちから
小俣力 校長先生



できるように配慮されています。

「この時間には、例えば、数学が好きな生徒は難問を紹介して解説したり、セミが好きな生徒は色々なゼミの鳴き声の研究発表をしたりと、自分の得意なことをプレゼンテーションすることが出来る講座などもあり、生徒がより主体性を持って活動していることを実感しています。今後は教科融合型の講座や、高1から高3まで合同で活動する構想もあり、やがてはこの時間を本校の特色の1つにしていきたいと考えています」(小俣校長先生)

高1から始まる 充実したキャリア教育

城北では、入学後すぐに将来について考えるキャリア教育がスタートします。保護者や卒業生から職業についての話を聞く「将来を考える講演会」では、仕事の楽しさや失敗談・成功談についての話を聞いたあとに質疑応答の時間があり、生徒には将来を具体的にイメージできるいい機会になっています。

高2、高3向けには、卒業生を招いて「入試懇談会」を実施。大学受験の体験談や大学での研究内容とその選択理由などについて話を聞きま

す。生徒たちは事前に質問事項を準備するなど、積極的に自分の進路について考えていきます。毎年、多くの卒業生が後輩のために参加してくれています。

「実際に仕事に就かれている方や先輩の話を聞く」と職業についての理解がいつそう深まっていきます。一方で、一定の方向性を持って将来の進路を決めるためには、様々な情報が必要になってきます。そのため本校では、直近の大学入試の動向や入試結果の集計などを冊子にまとめた『進学情報資料』を作成しています。先輩たちの合格体験記も紹介しており、大学受験に向けて、また将来どのような道に進むのかを決めるための大切なヒントになっています」(小俣校長先生)

さらに、それぞれの志望校に合わせた夏期・冬期講習会も充実しています。高3の夏には、希望者を対象に長野県大町市にある城北の山荘で「大町学習室」が実施されます。

この「大町学習室」では、10日間で100時間を目標に仲間とともに自学自習を行い、生徒同士が教えあい、高めあうことを大切に、勉強を通して新しい未来を切り拓く力を育てています。

冷暖房完備の体育館



採光性に優れた廊下



クリエイティビティを高めるiRoom



英語プレゼンの様子



全4面あるテニスコート



盛りだくさんの独自プログラムで
将来につながる力が身につく
私立4校の魅力とは!?

JOHOKU SENIOR HIGH SCHOOL

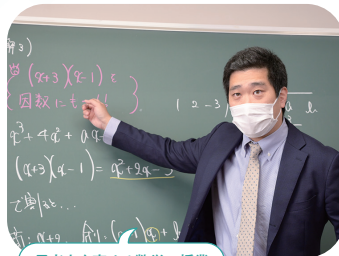
ICTを活用した授業風景



入学後最初のイベント、大町オリエンテーション



文化祭の様子 語学部



思考力を高める数学の授業

体育祭 綱引き



部活動の様子

多彩な英語教育を通じて
人間的に大きな成長を促す

城北では、グローバル社会をリードする人材を育成するためのプログラムも数多く用意されています。

例えば、英語だけを使って3日間を過ごす高1のイングリッシュキャンプ(国内留学)では、1グループ5、6名に対して、英語ネイティブスピーカーの講師1名がついて、英語4技能を徹底的に身につけていきます。最終日には、プレゼンテーションやディベートの時間などもあり、確実に英語力が鍛えられるプログラムになっています。

また、夏休みには希望者を対象としたオーストラリア語学研修(15日間)が実施されます。ホームステイをしながら現地の大学で語学研修やディスカッションを行うプログラムで、異文化交流の一環として現地の小学校や高校も訪問します。

さらに、高1の3学期から3か月間、英語を集中的に習得するためのチーム留学が実施されます。留学先はアメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドの4カ国の中から選択することができ、今年度は11名の生徒が留学する予定です。

今夏、東京23区内最大級の広大な人工芝グラウンドが完成した城北。学期に1回の生活アンケートの実施、勉強や友人関係の相談ができる「生徒相談室」の設置など、生徒のメンタルケアにも力を入れています。

最後に、小俣校長先生から読者のみなさんにメッセージをいただきました。

「私は様々なことに興味・関心を持ち、好奇心、探究心あふれる方に入学してほしいと思っています。本校にはそれに十分応えられるだけの環境や施設、教育プログラムがあります。実現したい夢を持って挑戦するみなさんを待っています」

■ 2022年3月 大学合格実績抜粋

国公立大学		私立大学	
大学名	合格者数	大学名	合格者数
北海道大	9	早稲田大	106
東北大	6	慶應義塾大	66
筑波大	4	上智大	33
東京大	9	東京理科大	144
東京外国語大	3	国際基督教大	1
東京工業大	3	青山学院大	33
一橋大	5	中央大	79
千葉大	6	法政大	77
京都大	4	明治大	160
大阪大	7	立教大	60